

第7回講演会・講習会を開催！

8月17・18日（水・木）、今年も大阪府立生野聾学校とアウイーナ大阪を会場に、第7回講演会・講習会を開催しました。国立特殊教育総合研究所名誉所員・菅原廣一先生の講演会、また22講座に会員の皆様をはじめ218名の参加者がありました。

毎年続けてご参加いただく方もおられ、1年に1度活気あふれる講習会を開催できることは本会としてもうれしい限りです。また、会場をお借りしました大阪府立生野聾学校には、厚くお礼申し上げます。

写真や参加者の感想をまじえて、第7回講演会・講習会を振り返りたいと思います。



～ 講演会 ～

『聴覚障害教育における言語の教育と生活充実』

講師：国立特殊教育総合研究所 名誉所員 菅原 廣一 先生

8月18日（木）午前の講演会では、講師に国立特殊教育総合研究所名誉所員の菅原廣一先生をお招きし、『聴覚障害教育における言語の教育と生活充実』とのテーマで、ご講演をいただきました。聴覚障害教育に長く携わってこられた先生にしか語れないこどもの姿と、その取り組み。菅原先生の思い - “宝物” がいっぱい詰まった講演でした。

生活を豊かに充実させていくために必要なものが言語であること。言語を駆使し、他者とともに充実感をもって暮らす、そのような言語獲得を保障する言語指導でなければならないこと。その言語指導の大原則（情報入力保障、情報処理保障、情報出力保障）についてのお話もあり、再度自分達の実践を振り返る一つの視点をもつことができました。「教師としての成功・失敗例」というテーマからは、教師として何を大切にしていけるのかを問われた気がします。

聾教育はこうした先生方の教育実践の積み上げ、そして時代は変わっても変わらない聴覚障害児者や保護者の願いによって、培われてきたことを改めて痛感しました。その重みを今私たちがしっかりと受けとめ、聴覚障害児教育の専門性を高めていくために更に取り組みを進めていこうと思うことのできた講演会となりました。



～ 講習会 ～

講習会は、2日間で22講座を設けました。講演会講師の菅原廣一先生には、引き続き「言語指導法」の講座をご担当いただき、80人を超える方が受講されました。また、愛知淑徳大学の井脇貴子先生による「人工内耳の基礎」、難聴学級の取り組みを紹介した「難聴学級・・・」には今年も多く参加があり、具体的な取り組みの紹介が参考になったとの感想が多くありました。例年参加希望の多い「発音指導」は、今年は愛知県立千種聾学校の赤下五雄先生にご担当いただき、聴覚との関係から見た発音指導という観点からのお話が分かりやすかった等の感想がありました。

講習会・講習会アンケートから

～講演会について～

- ・ 言語教育の原点を改めて知らされ、初心に帰った気分でした。
- ・ 子どもの立場、教師、親などの立場から、先生の経験談を交えながらのお話で、とても勉強になりました。
- ・ 教師がどのような心を持って子どもたちに接していけばよいか、言語の指導はもちろんです。愛情を感じさせるお話ですばらしいと思いました。
- ・ 聴覚障害教育の歩みを改めて知る機会になりました。
- ・ 人間味あふれるお話に、あたたかい気持ちになりました。最後の「頼られる自分をたっぷり経験させながら育てる」という言葉に感動しました。

～講習会について～

「支援教育のすすめ方」

- ・ 地域支援や通級指導についての各校の状況が分かりよかった。情報交換の機会を継続して持ってほしい。

「発音指導」

- ・ 聴覚の活用も含めて、普段難しく避けてしまいがちな理論の話を楽しく聞かせていただき、ためになりました。

「難聴学級」

- ・ 年間を通しての取り組みの紹介が参考になりました。集団が作れるということがうらやましく思えました。

「音響学」

- ・ 難しいというイメージがありましたが、例をたくさん入れ受講者からフィードバックしながらのお話でかなり理解することができました。

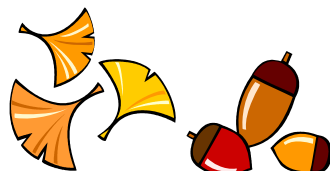
「人工内耳の基礎」

- ・ 毎年、新しい情報を入れていただきありがとうございます。参加された先生方との情報交換も、大変参考になります。



(上：発音指導 下：補聴器の特性)

その他、たくさんの感想をいただきました！



～来年度への希望～

- ・ 特別支援教育に向けての体制作りについて。
- ・ 手話による日本語教育の成果と課題について。
- ・ 発音指導での具体的な技法について。
- ・ 各学部段階での障害認識について。
- ・ 幼稚部や小学部での保育や授業の実践について。
- ・ 発達に遅れのある子どもについての実践について。
- ・ 人工内耳の子どもに対する個別プログラムや教材の紹介。
- ・ 具体的な指導方法や新しい取り組みの紹介を入れてほしい。
- ・ 参加者の悩みや実践例を交流する内容。



(人工内耳の基礎)



(左：語音検査と聴能の評価 中：教育オーディオロジーの基礎 右：難聴学級)

実習や、取り組みの紹介・意見の交流などを希望するご意見が多かったように思います。いつもたくさんのご意見をいただき、感謝しております。来年度の講演会・講習会に向けて、活かしていきたいと思っております。アンケートへのご協力、ありがとうございました！

今後の活動計画

平成 17 年 10 月 21 日 秋の講演会 (日本教育オーディオロジー研究会と共催)
日本教育オーディオロジー研究会 第 3 回総会および講演会
午前 一般演題
午後 特別講演「聴覚障害児が学ぶ音環境と補聴器」
講師：白石君男先生
(九州大学 大学院芸術工学研究院音響部門)
会場：ホテルアウィーナ大阪

平成 18 年 1 月 14 日 冬の学習会
会場・内容は未定(兵庫県内の予定)

2 月 機関紙第 16 号発行(秋・冬の学習会の報告)

3 月末 集録第 8 号発行



各地の研究会案内

詳細は本会ホームページをご覧ください

この秋、各地の研究会が数多く開かれます。参加ご希望の方は申し込みの要・不要などを確認の上ご参加ください。

第4回共同研究会

奈良、阪神間、大阪、京都の難聴・言語に関する研究会の共同研究会

日時：平成17年11月8日(火)
13時50分～

場所：宝塚市立売布小学校
(阪急宝塚線売布神社駅下車)
内容：

5時間目 難聴学級
自立活動の公開授業

5時間目終了後 講演会

講師：滋賀県立聾話学校教諭
西垣正展先生
演題：「聴覚障害児の心理的支援
をするために」

参加申し込み：参加費は無料
10月14日までに下記問い合わせ先まで FAX で申し込んでください。

問い合わせ先：
尼崎市立武庫中学校

難聴学級 湯川愛子
FAX：06-6431-6979

大阪聴覚障害教育研究会 第28回研究会

日時：2005年11月12日(土)
会場：大阪市立九条東小学校
(地下鉄中央線九条駅 番出口
すぐ)

テーマ：聴覚障害児教育に対する私見～自らの体験を
ふまえて～

講師：上田大輔さん
(大阪府立大学)

時程：13:30 受付開始
14:00 説明
14:10 講演開始
16:00 講演終了
質疑応答
16:30 事務局より連絡
16:45 終了予定

参加費：
会員無料・非会員500円
事前申し込みの必要はありません。準備の都合上、手話通訳の必要な方のみ、10月31日までに下記事務局まで FAX で連絡をしてください。

問い合わせ先：
大阪聴覚障害教育研究会事務局
(大阪市立泉尾北小学校
難聴学級 足立 貢)
TEL:06-6551-0028
FAX:06-6493-6450

ホームページ：
<http://www.geocities.jp/chosyoken/>

平成17年度第2回 京都聴覚障害教育研究会

日時：平成17年11月19日(土)
10時00分～12時30分
会場：京都市立二条中学校
(京都市上京区竹屋町千本東入
主税町911)

講演：「バイリンガル教育と聴覚
障害児教育の接点」

講師：井上 智義 先生
(同志社大学 助教授)

会費：会員1000円 会員外2000円
を徴収させていただきます。
年会費2000円

問い合わせ先：
京都府立聾学校聴能言語室
細矢義伸
TEL:075-461-8137
FAX:075-461-8122

京都市立二条中学校 難聴学級学校公開日

日時：平成17年11月22日(火)
午後2時15分より
会場：京都市立二条中学校
(京都市上京区竹屋町千本東入
主税町911)
内容：

授業参観(6限)
午後2時15分～午後3時5分
1年4組、2年4組、3年4組の各
教室又は特別教室(時間割に
より当日ご案内いたします)
説明会
午後3時10分～1時間程度
於：いきいき交流ルーム
(本館1階)

(お子さんは別に話をする予定
です)

参加申し込み：準備の都合上、
11月10日までに下記に申し込
んでください。

問い合わせ先：
京都市立二条中学校
難聴学級 高井小織
TEL:075-821-1196
FAX:075-821-1197

近畿教育オーディオロジー 研究協議会事務局

〒639-1122
奈良県大和郡山市丹後庄町456
奈良県立ろう学校内

事務局長 中井 弘征

TEL:0743-56-2921

FAX:0743-56-8833

メール:h-nakai@indigo.plala.or.jp